

基本計画19 交通安全、防犯、消費者被害対策

現状と課題

北海道新幹線の開業により、新函館北斗駅を中心に多くの方々が北斗市を訪れています。交流人口の増加により、レンタカーの利用や公共交通機関の充実など交通環境の変化に伴い、交通事故や犯罪の発生する可能性が高まることが懸念されますので、交通環境の変化を的確に把握した上で事故発生リスクの低減や犯罪の未然防止に努める必要があります。

また、すべての市民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことが重要であるため、関係機関や関係団体が連携した運動を取り組むことが必要となります。

インターネットなどによる通信販売や訪問販売による契約トラブルや悪質な商法などによる被害、さらに特殊詐欺などは、残念ながら後を絶たない状況にあり、年々巧妙化になってきています。

そのため、これらの相談に応じる体制を堅持し、被害を未然に防止するため、消費者に対する情報提供や啓発活動が重要となります。

■交通事故発生件数・死傷者数

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
交通事故発生件数	140	129	90	85	75
(過去3カ年平均)	144	136	120	101	83
死者数	1	1	0	1	1
傷者数	185	160	118	107	93

■消費生活相談件数

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
消費生活相談件数	147	149	165	144	143

成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	交通事故発生件数	83件	
2	各種交通安全運動参加者数	5,791名	

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 1 現状値は、平成29年4月1日現在の実数（3カ年平均）。
- 2 現状値は、平成28年度の街頭啓発活動や安全祈願祭などへの参加者数。

主要施策**1 安全な交通環境の整備**

- ① 幹線道路については、交通量の動向に応じて、歩道、防護柵、中央分離帯などの安全施設の設置や、信号機、交通安全規制標識などの設置を要望します。
- ② 生活道路については、通勤、通学、買物などの安全を確保するため、交通環境に応じた歩道整備に努めます。
- ③ 地域によって道路環境や道路利用の実態及び交通状況が異なることから、地域の実情を町内会要望や北斗市通学路交通安全対策プログラムなどを通じて広く把握し、道路交通環境の整備を行います。

【関連主要施策】 P67 主要施策1 安全・安心な教育環境の充実 ④

2 市民総ぐるみの交通安全運動の推進

- ① 町内会や学校、交通安全推進委員会、交通安全協会、交通安全指導員会などとの連携による、市民と一体となった交通安全運動を推進し、スピードダウン・シートベルト着用を重点的に推進します。
- ② 幼児、小中学生、高校生に対する発育段階に応じた交通安全教育と高齢者大学や老人クラブなどと連携し、実践型の交通安全教育を推進します。
- ③ 警察機関との連携のもと、運転免許証の自主返納制度の周知など、高齢運転者対策を推進します。

3 市民総ぐるみの防犯対策の推進

- ① 渡島地区保護司会などが参加する、「社会を明るくする運動」を通じ、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くための運動を推進します。
- ② 組織犯罪から市民の安全を確保するため、函館中央地区北斗市暴力追放運動推進協議会や函館中央管内防犯協会などと密接に連携し、安全で安心なまちづくりに努めます。
- ③ 青色防犯パトロール隊など、青色回転灯装着車両が市内全域をパトロールすることによって、抑止効果となる不審者や不審車両への市民の目による監視機能の強化を推進します。

4 消費者被害対策の実施

- ① 市民からの苦情・相談に対応するため、消費生活相談員を配置し、関係機関と連携しながら、相談・あっせんにより円滑に対処する体制を堅持し、消費者保護の充実を図ります。
- ② 特殊詐欺をはじめとする消費者被害の未然防止に努めるため、広報誌による啓発活動や、高齢者にも分かりやすい消費者講座、研修会を開催するなど、消費者自らが必要な知識を習得し、自主的かつ合理的に行動できるよう推進します。